

モデル事業名	交流促進による地域活性化モデル事業
活動団体名	おちちょう 越知町 <small>にじいろ さとよこばたけ</small> 虹色の里横島
ホームページ	http:// (活動団体のHPのアドレス) なし
所属/担当者名	ご担当者氏名 (お問合せ先) <small>にじいろ さとよこばたけ</small> 虹色の里横島事務局補佐 武智 龍
連絡先	電話番号、Eメールアドレス (担当者) 090-9772-3969 ryu_takechi@jp.bigplanet.com
活動地域	<small>こうちけん たかおかくん おちちょう よこばたけ</small> 高知県 高岡郡 越知町 横島 (横島西部地区)

● 活動地域の概要

【横島西部地区】◆集落数 8集落

◆人口世帯数

	年	袖野	袖ノ木	栗ノ木	薬師堂	清水	筏津	深瀬	稲村	計
人口(人)	S45	52	99	83	60	129	54	110	113	700
	H元	43	59	56	36	85	45	76	40	440
	H20	32	35	41	18	66	28	60	22	302
世帯数(世帯)	S45	11	24	20	18	31	15	22	29	170
	H元	11	20	17	16	32	17	19	18	150
	H20	11	18	15	11	29	14	18	11	127

◆高齢化率

	H15	H16	H17	H18	H19	H20
高齢化率(%)	48.2	48.2	50.8	50.6	51.8	51.3

◆公共交通に関する状況 路線バス なし、通学：スクールバス(町営)、通院：患者バス(町営)

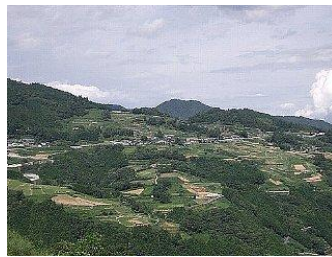
◆地域の主な産業及び雇用状況

畑作農業(露地栽培：ショウガ、いも類、薬草、お茶など)、土木建設業

農作業は繁忙期の期間雇用も多い、農業の不振と公共土木事業の激減により若者が流出し高齢化が加速



【越知町と横島位置図】



【横島西部地区遠景】



【交流行事「いも煮会」】

● 活動地域の課題

- 史跡や歴史等の地域資源の整備と活用
旧松山街道や大山祇(おおやまつみ)神社等の史跡やそれにまつわる歴史を活かすための整備や案内板の設置等
- 休校中の横島小学校の活用
地域のシンボリック的存在である横島小学校(休校施設)を宿泊や加工等の機能を備えた地域活動拠点として整備
- 虹色の里横島の運営体制の強化
 - ①交流者及び地域協力者のサポート体制の強化
 - ②企画・情報発信等の事務機能の強化
 - ③地域の高齢者を手助けする仕組みづくり「なんでもお助け隊(仮称)」(有償ボランティア)

● 活動の内容

・平成20年度

- 活動基本方針の再検討 虹色の里横島 第二次基本計画「虹色の里横島 虹色プラン」の策定
地域のニーズや課題の整理、今後の活動の基本方針づくり、目的実現のための3つの柱と実現に向けた取組整理
- 活動環境の整備
恒例となっている地域内外の交流行事の充実、可能な範囲での横島小学校の活動拠点整備
- 社会実験的な活動
空き家・遊休農地の実態調査、地域資源の魅力・付加価値の向上(再評価と再整備、旧松山街道整備等)
ソフト面の強化(自然案内人養成講座の開催、案内リーフレットの作成)

・平成21年度

20年度に作成した「虹色の里横島 虹色プラン」の基本方針に掲げた「先人から継承した農山村の暮らしを活かした、地域内外の交流による元気な横島」の目的を達成するために、「1. 農山村に磨きをかける」「2. 学校を活かす」「3. 人と人とのつながりを大切にする」の3つの柱に沿った活動を事業計画により行う。

- (1) 交流体験メニューの内容等の検証（そば打ち体験、サツマイモの栽培体験）、地元食材による郷土料理のメニューづくり、旧松山街道への案内説明板とベンチの設置、空き家の詳細調査
- (2) 横島小学校(休校施設)の活用検討（活用委員会による施設・機能等の検討、施設改装計画）
- (3) メンバーの多彩な技術を活かした「なんでもお助け隊(仮称)」(有償ボランティア)による地域高齢者の日常生活を手助けする仕組みづくり、自然案内人の育成、地域案内ガイドブックの作成、虹色の里横島のホームページ開設

● 活動の成果

・平成20年度

- ◆ 「虹色の里横島 虹色プラン」で活動の目的と3つの柱を掲げたことにより方向性を共有できた。
- ◆ 21年度には、横島西部地区8集落すべてを回り夜間の座談会を行った。この中で、平成20年度事業の成果である「虹色プラン」やグループ取り組みなどについて紹介したことで地域内での理解が深まり、学校活用に関する考え方などの意見交換も膝を交えて行うことができた。併せて各集落代表者を決めて横島小学校活用委員会につながっている。
- ◆ 案内板(説明板、誘導標識)の設置や旧松山街道の再整備、案内人養成講座などを行ったことで、地域を訪れる人への対応力が高まり、満足につながっている。
- ◆ 平成21年の6月末には高知県知事との「対話と実行座談会」が横島で開催され、横島への視察やテレビ取材なども少しずつではあるが増えている。こういったことが更なる対応力の向上につながっている。
- ◆ メンバーの中から、地域高齢者の助け合いの仕組みづくりの提案ができた。

・平成21年度

- ◆ 活動内容(1) 【そば打ち体験】遊休農地を活用したソバの栽培、12月5日刈り取り、1月末 そば打ち体験会予定
【郷土料理のメニューづくり】12月より実施(観光協会に協力依頼)
【サツマイモ栽培体験】6月 モニター募集、7月 植えつけ、9月 草引き、12月 収穫、1月「東山」に加工の予定
【旧松山街道の整備】案内説明板、誘導標識、ベンチ等の設置(20年度事業に続く1.8km) 現在までに場所の決定と標識、説明内容の原文を作成中
【案内資料の作成】外部委託
- ◆ 活動内容(2) 【横島小学校の活用検討】活用委員会を設置し改装プラン等を検討中、4回の検討会開催(全5回予定)
- ◆ 活動内容(3) 【助け合いの仕組みづくり】「なんでもお助け隊(仮称)」による社会実験、7月 活動内容や料金等の検討、メンバーの確保と事務局体制が課題、実際に具体的な活動を実験的にやりながら改良していく、【自然案内人の育成】12月以降3回実施予定、【ガイドブック及び虹色の里横島ホームページの作成】外部委託により作業中

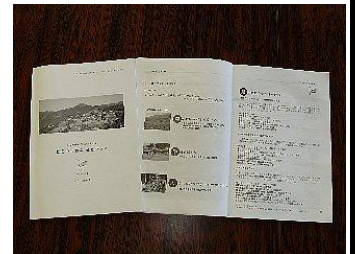
● 今後の課題及び展望

・課題

- ◆ 企画や情報管理・発信等の事務機能の強化(人材の確保と体制の強化)
- ◆ 横島小学校の施設整備事業の予算確保
- ◆ 外部機関との交流・連携(大学、他の地域活性化グループ等)
- ◆ 活動に対するモチベーションの維持・向上
- ◆ 中山間地にある空き家の老朽化の実態(活用の限界)

・展望

- ◆ 越知町の観光振興の拠点となる旧JRバス越知駅跡地の整備が平成21年度に行われており、今後主流となりつつある地域資源を活用した交流・体験型観光の受け入れ先として虹色の里横島への期待が高まっている。また、このような活動が他の地区にも広がることにより、受け入れ先が増え地域の魅力アップにつながる。
- ◆ 地域コミュニティや地域活性化の活動拠点ともなる横島小学校の整備と、整備後の力強い施設運営が継続されていく体制作りには全力を尽くす必要がある。
- ◆ 宿泊施設の少ない越知町にとって横島小学校の宿泊機能への期待も大きい。



【虹色プラン】



【案内板で知事に地域の説明をする大原会長】



【旧松山街道の調査状況】